



ビルトインタイプ

MODEL-750BT
MODEL-D400BT
Aquaextra EXBT

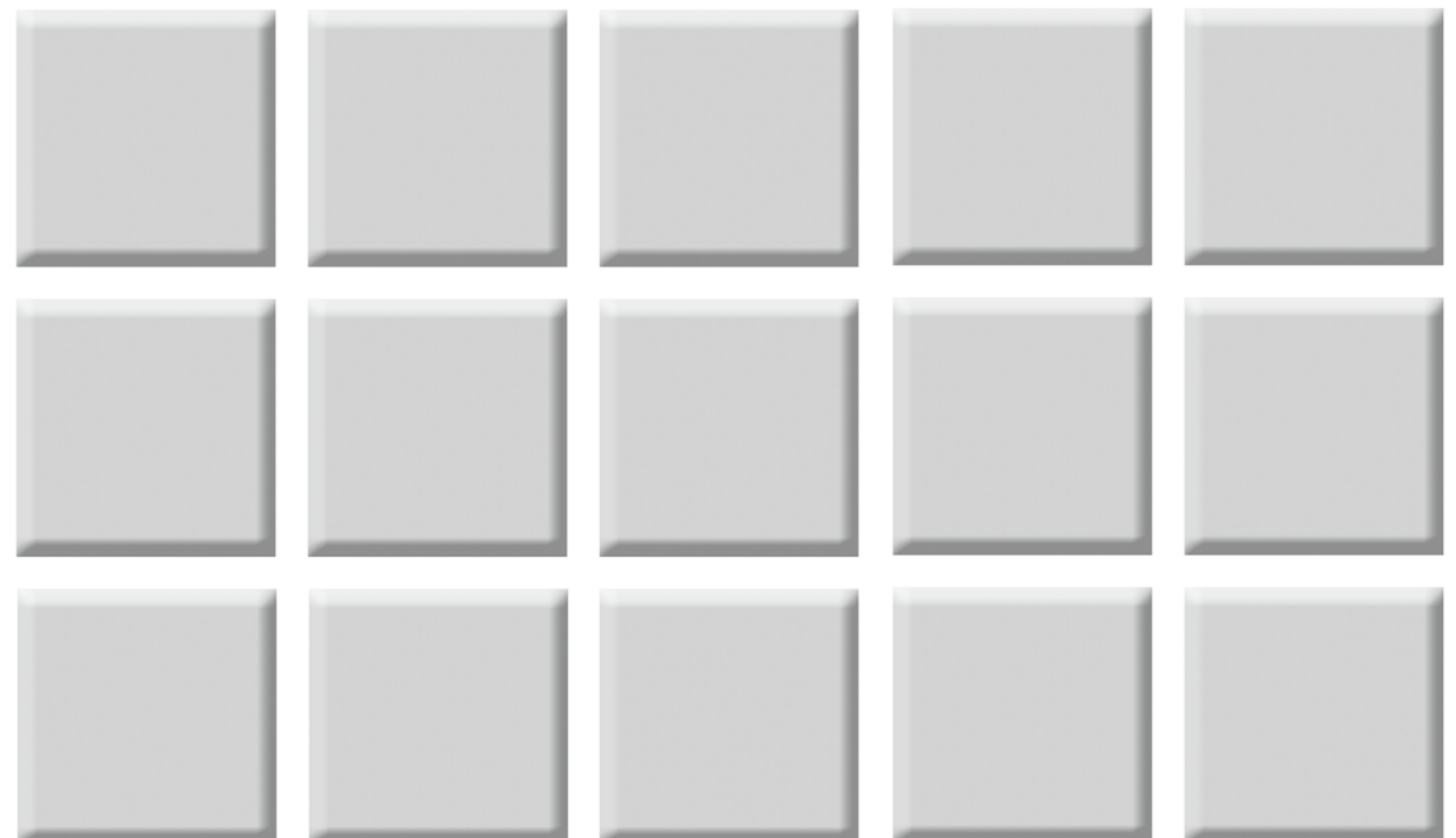
取 付 要 領 書

お客さま相談室 ☎ 0120-80-1711 ✉ info@multi-pure.co.jp



マルチピュアジャパン株式会社
東京都杉並区上荻2-21-25 アズマビル3階 〒167-0043

URL <https://multipure.co.jp>



◆ もくじ ◆

1. 梱包部品	3
2. 総取付図	4
3. 器具の設置手順	5
4. 最終点検(水漏れのチェック)	14

使いはじめのご注意

- 流量のチェックをしてください。チェックは(コップ200mlが約4秒で満水になるように)アングル分岐栓のバルブで調整してください。
※ 地域やお住まいの場所によっては4秒に満たない場合があります。
- 初めの通水時に黒っぽい水が出てきます。20分間以上通水し十分流しきってからお使いください。
- 10日以上使用しなかった場合は、2分間以上通水してからお使いください。
- この「取付要領書」は工事完了後、お客さまへお渡しいただき、「取扱説明書」とともに大切に保管していただくように説明してください。

安全上のご注意

工事をされる方へお願い

- 本浄水器を正しく安全にご使用していただく為に、この「取付要領書」を必ずお読みになり工事を行ってください。記載事項を守らないで、万一事故が発生した場合は責任を負いかねますので、工事開始時には必ずお読みください。



注意

ここに示した注意事項は、状況により重大な事故などに結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



実行

配管工事は全て水道法、建築基準法、各都市の条例に準じて行ってください。



禁止

一般上水道に適合しない水や、殺菌・滅菌が必要とされる水を、その処理をしないで通水し、使用することは避けてください。



禁止

凍結の恐れのある場所には設置しないでください。



禁止

高温になった器具や火気の近くに設置をしないでください。



禁止

38℃以上の温水を通水させないでください。(機能が低下するおそれがあります)



実行

使用可能水圧の範囲で設置してください。



実行

ホースやホームチューブの取り回しは、なるべくゆるやかにつぶれないように曲げて接続してください。(流量の低下、破損、亀裂の原因となることがあります)



禁止

ホーロー、天然大理石の天板は取付ができません。無理に穴を開けようとすると破損する恐れがありますので、シンクメーカーにご相談ください。



実行

20分間以上通水し、必ず水漏れがないことを確認してください。



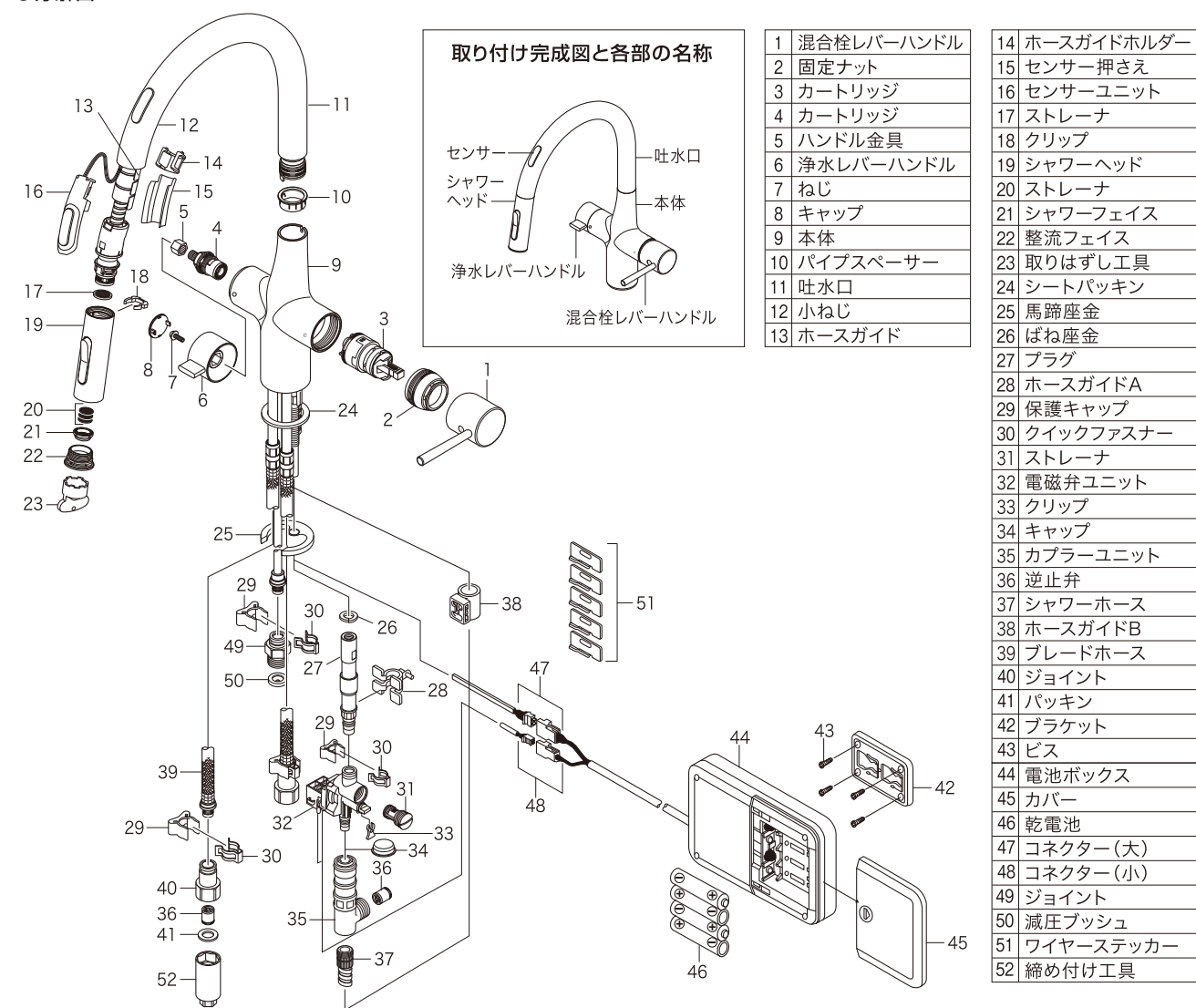
実行

レバーの開閉をくり返し行い、各部の水漏れがないことを確認してください。

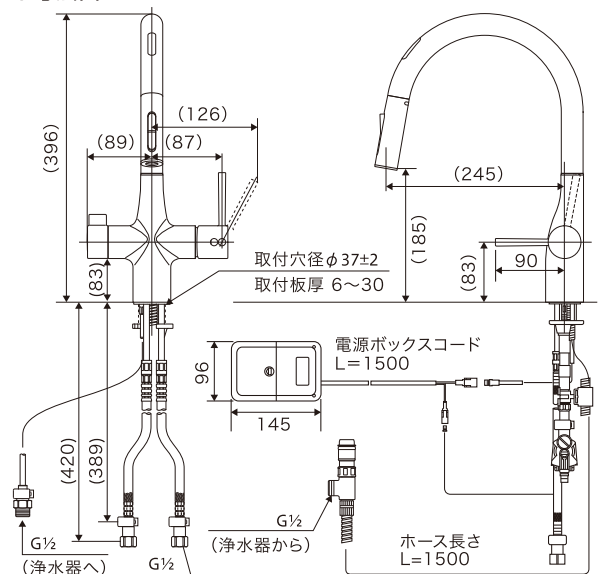
1. 梱包部品

■浄水器本体以外に、下記内容部品がそろっているかご確認ください。

●分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

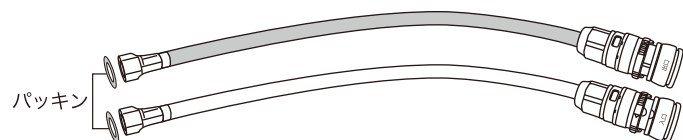


●寸法図



●水栓取り付け面からシンク下の底板(棚板)までの距離が575mm以上ないとホース収納時に底板(棚板)との干渉が大きくなり、使用上問題はありますがホース収納性が悪くなります。

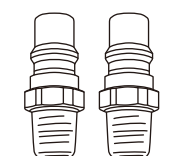
●カプラ付片ナットホース(800mm)2本



●アクリル台座



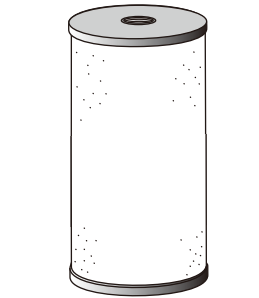
●カプラプラグ
(本体取付済)



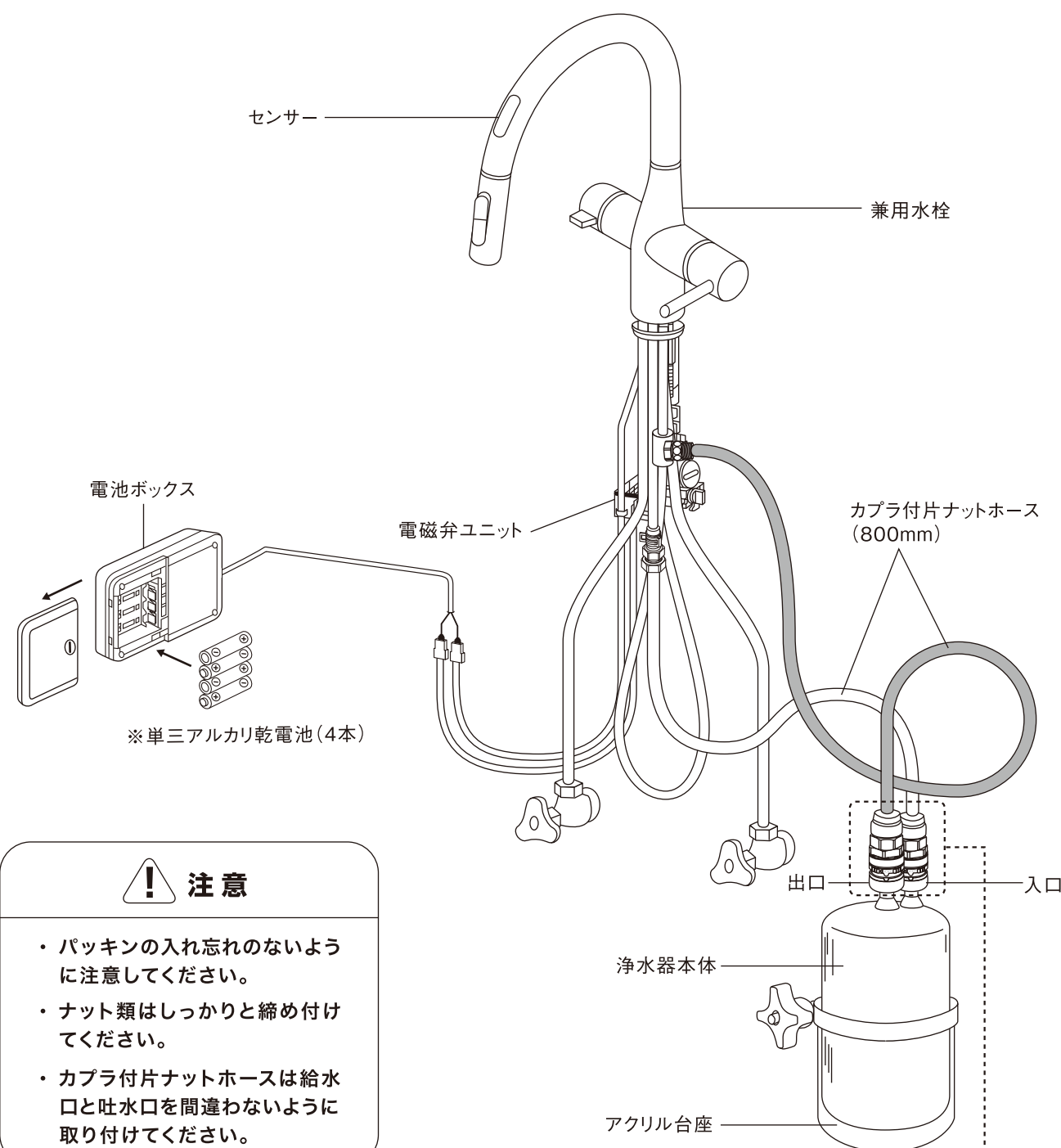
●活性炭セラミック



●フィルターカートリッジ



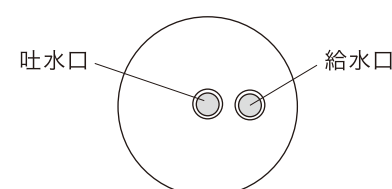
2. 総取付図



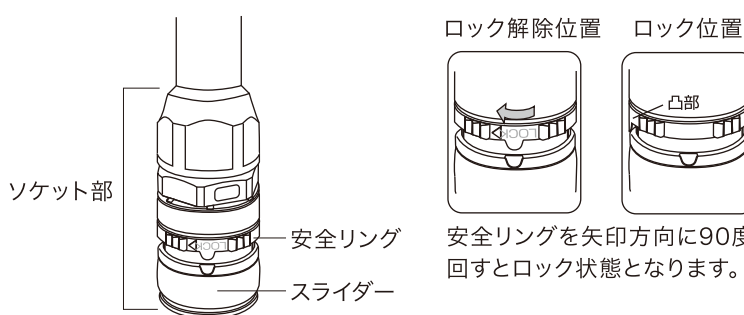
⚠ 注意

- ・パッキンの入れ忘れのないように注意してください。
- ・ナット類はしっかりと締め付けてください。
- ・カプラ付片ナットホースは給水口と吐水口を間違わないように取り付けてください。

浄水器本体 上部図



カプラ付片ナットホース



3. 器具の設置手順

1 水栓・浄水器 設置場所の選定

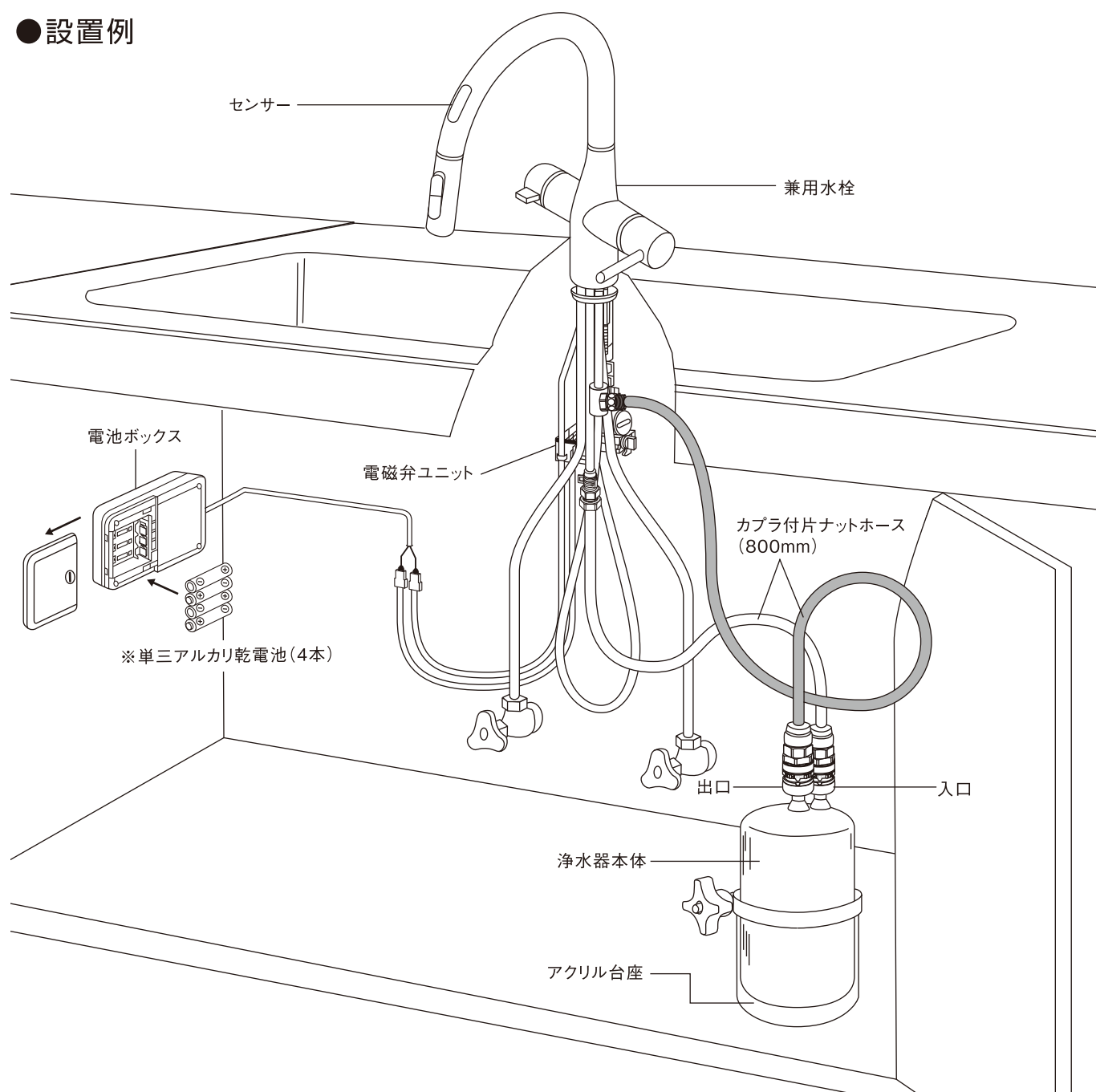
- カウンターの天板の厚さは6～30mmまで取付可能です。
- 各部材は、既設の配管にぶつからないように設置してください。
- 浄水器本体は平らな場所に設置してください。
- 浄水器本体は、フィルターカートリッジ交換が容易な場所に設置してください。
(手前に引き出せる場所)

天板 6～30mm

●取付に必要な工具等

- ・ホールソー(ドリル)
- ・スパナ(24mm)×1本
- ・スパナ(23mm)×1本
- ・スパナ(15mm)×1本
- ・その他必要に応じて
モンキーレンチ
モーターレンチなど

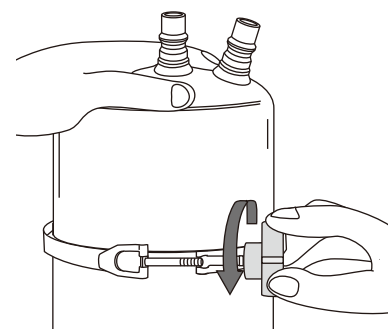
●設置例



2 本体へのフィルターカートリッジの装着方法

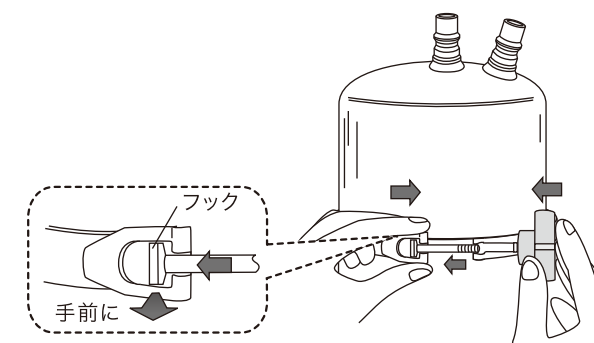
① 本体の固定バンドをゆるめる。

本体の固定バンドのハンドルを反時計回り(左回り)に回し、ネジを十分にゆるめます。



② 固定バンドをはずす。

ゆるんだ固定バンドを、下図のように手でおさえ、フックを手前に出すと固定バンドははずれます。

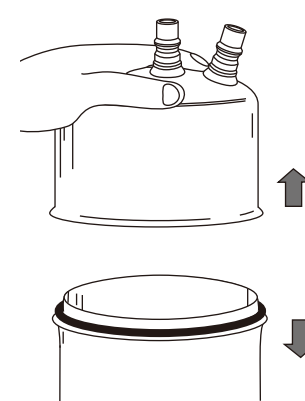


- 固定バンドのハンドルは、ネジから完全にはずさないで、作業をしてください。
- 固定バンドを無理に広げないでください。



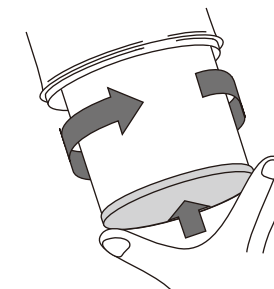
- 固定バンドのハンドルが固い場合には、怪我をする恐れがありますので、軍手やタオル等で手を保護してください。

③ 本体を上下に分割する。



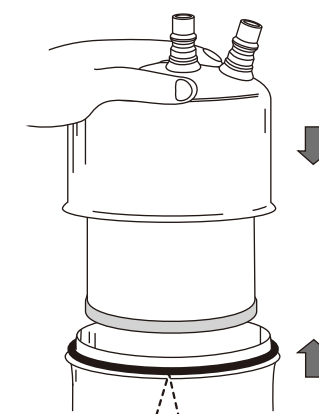
④ フィルターカートリッジを取り付ける。

フィルターカートリッジの包装をすべてはがして、本体上部内側にあるネジ部にフィルターカートリッジを時計回り(右回り)にゆっくりとねじ込みます。固くなった所からさらに1/4回転程度回します。



- フィルターカートリッジはまっすぐ締め込んでください。

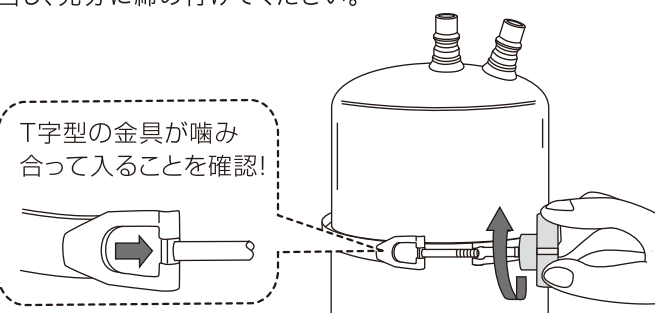
⑤ 元通りに本体を合わせる。



Oリング(パッキン)を確認!

⑥ 固定バンドを締め付ける。

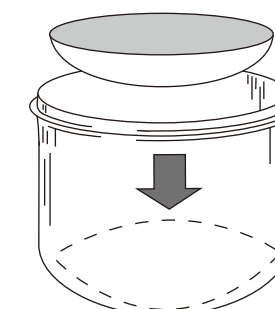
固定バンドを本体に巻き付け、ハンドルを時計回り(右回り)に回し、十分に締め付けてください。



- 本体に巻き付ける際に、固定バンドを無理に広げないでください。

活性化セラミックを本体下部に置く。

置く向きに注意してください。



ふくらみを下に

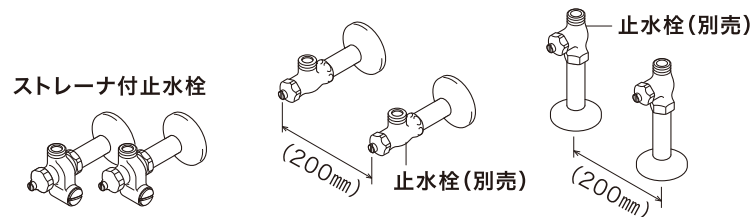
3 水栓の取付手順

1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は200mm程度で取り付けます。水受けタンクまたはトレーを設置する場合は、水受けタンクまたはトレーの寸法をご確認の上取り付けてください。止水栓はストレーナ付が最適です。



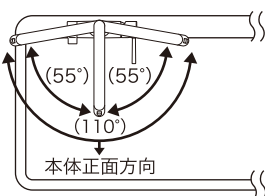
3 本体の取り付け位置について

●取り付け位置によっては吐水口先端がシンクから飛び出す場合があります。(施工例1)

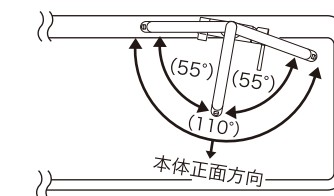
●正面位置をシンク内側へずらして調整することは可能です。(施工例2)

その際、ハンドルの左右中央位置もずれますのでご注意ください。位置調整は、ブレードホースが施工できる範囲で行ってください。

施工例1
(飛び出した例)



施工例2
(正面の角度を内側へずらした例)



4 本体の固定

①本体からプラグ、ばね座金、馬蹄座金を取りはずします。

②本体にガイドリングがはまっていることを確認してください。はずれている場合は、しっかりはめてください。

③取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート紙をはがし、混合栓レバーハンドルが右側にくるように本体を差し込みます。その際、ハーネス(黒いコード)が挟まっていない事を確認してください。※ハーネス(黒いコード)が挟まると破損のおそれがありますので、本体を取り付け穴に差し込む際は注意してください。

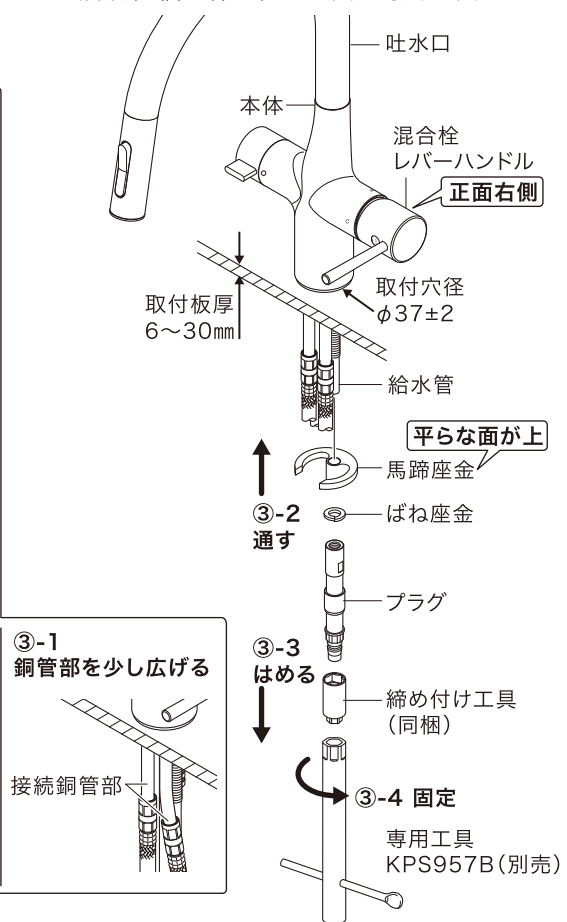
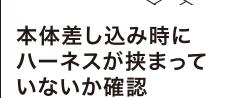
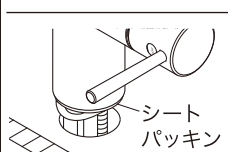
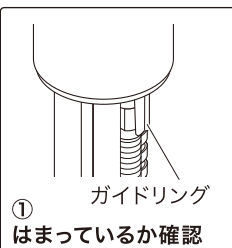
④ブレードホースの接続銅管部を少し広げ、給水管に平らな面を上に向けた馬蹄座金とばね座金を通し、プラグにて固定します。馬蹄座金は平らな面を上に向けて通してください。プラグを固定する場合、同梱の締め付け工具を専用工具 KPS957B(別売)にはめて、プラグを固定します。

【お願い】プラグは確実に締め付けてください。

注意

- 厚さ30mmを超える取付板には取り付けないでください。これよりも厚い板に取り付けた場合、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起こし漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- レバーハンドルや吐水口を持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。
- プラグの締め付けには専用工具で確実に行ってください。締め付けトルクの目安は約800~1000N・cmです。

しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



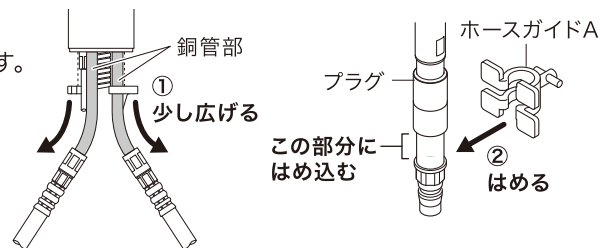
5 ホースガイドAの取り付け

銅管部を少し広げて同梱のホースガイドAをプラグにはめ込みます。



注意

銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



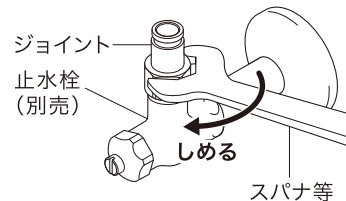
6 止水栓との接続

① ジョイントを止水栓に接続します。



注意

- 接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- 薄肉の接続管(ニップル等)にはジョイントを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。

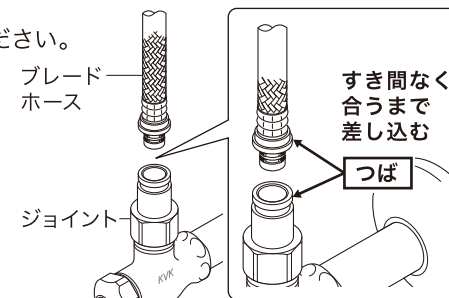


② ブレードホースのつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。

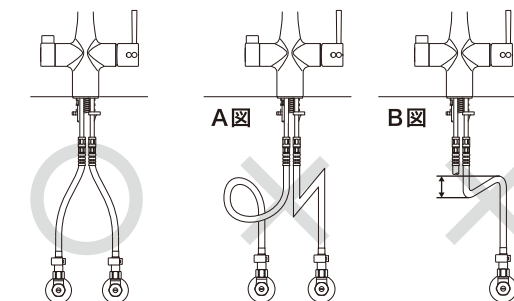


注意

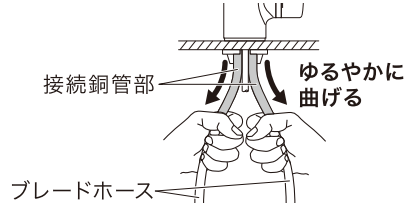
- ブレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- 上下戻り配管はやめてください。(B図)ウォーターハンマーなどでブレードホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
- ブレードホース同士などへの不要な接触は避けてください。摩耗による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。



【お願い】ブレードホースは切断しないでください。

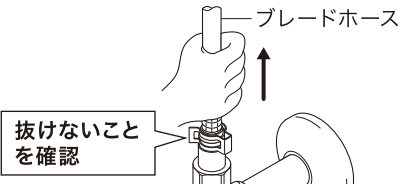


【ブレードホースの曲がりがつきの場合】接続銅管部をゆるやかに曲げて、ブレードホースの曲がり方を調整してください。

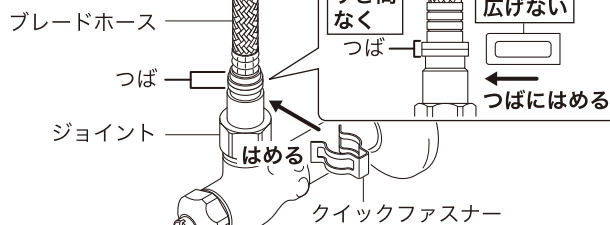


注意

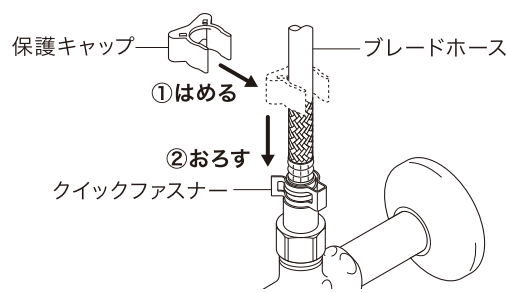
ブレードホースを上引っ張って、抜けないことを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。



③ クイックファスナーをブレードホースとジョイントのつばにはめます。



④ クイックファスナーに保護キャップをはめます。この時、保護キャップはブレードホースにはめてから、クイックファスナーまでおろします。



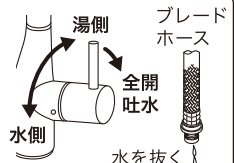
一度外したブレードホースを再接続する場合

- 電磁弁ユニットのクリップを外し、手動弁を右側いっぱいに回します。(※)
- 混合栓レバーハンドルを全開吐水状態で湯水に振り、湯側・水側それぞれのブレードホース内の水を抜いてください。
- 混合位置で混合栓レバーハンドルを開いた状態で、「6 止水栓との接続」に従いブレードホースを接続してください。
- 手動弁を左側いっぱいに戻し、クリップを取り付けます。(※)



注意

ブレードホース内の水を抜かないと、正しく施工できなかったり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。※手動弁の操作方法は、取扱説明書6ページ「電池切れおよび故障時の応急処置」をご参照ください。



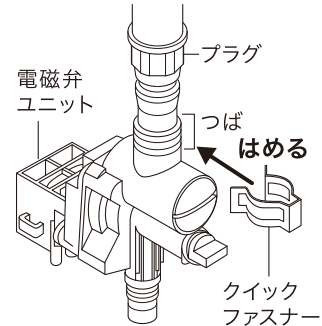
7 電磁弁ユニットの取り付け

- ① プラグのつばと電磁弁ユニット(ストレーナーが正面から見て右側を向くように)のつばがすき間なく合うまで差し込んでください。

注意

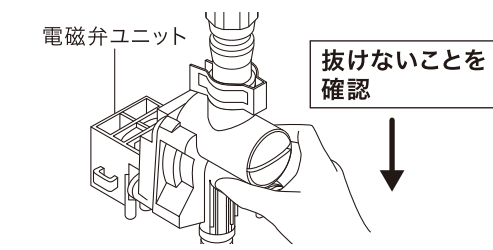
プラグ先端のOリングに傷がつかないようにしてください。傷がつくと漏水のおそれがあります。

- ② クイックファスナーをプラグと電磁弁ユニットのつばにはめます。

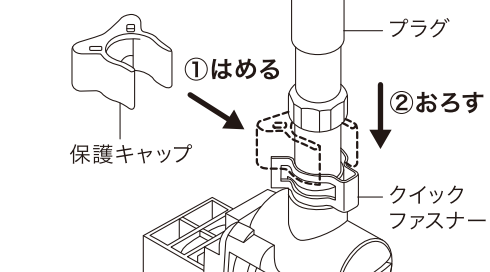


注意

電磁弁ユニットを下に引っばって、抜けないことを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



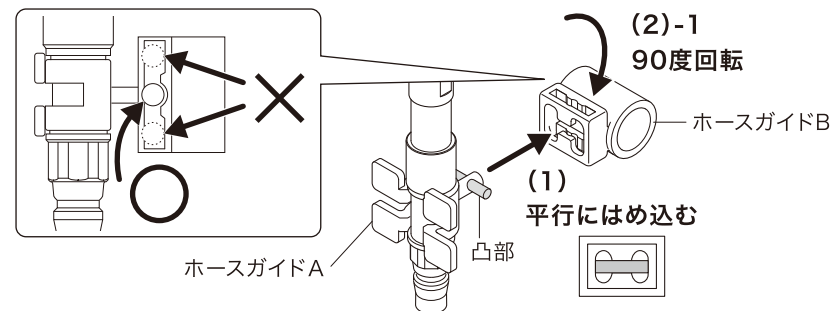
- ③ クイックファスナーに保護キャップをはめます。この時、保護キャップはプラグ(六角部より下側)にはめてから、クイックファスナーまで下ろします。



電磁弁取り付け後、ブレードホース等に接触していないことを確認してください。

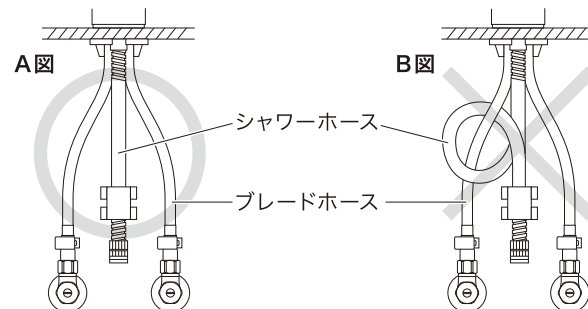
8 カプラーユニットの取り付け

- ① (1) 同梱のホースガイドBをホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめます。
(2) ホースガイドBを90度回転させ、シャワーホースを上から通します。



注意

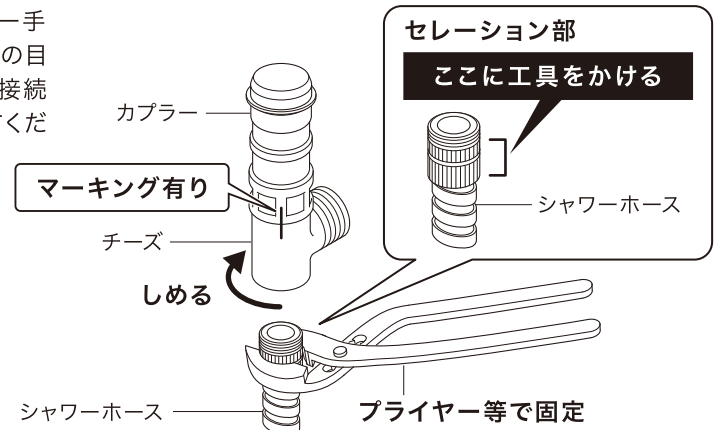
固定した際、シャワーホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。B図のように、ブレードホースに引っ掛けたり、ひねったりしないでください。シャワーホースが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- ② チーズとカプラーの接続が緩んでいないか確認してください。(確認用の赤色マーキング有り) 緩んでいる場合はカプラー手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm) カプラーユニットとシャワーホースを接続します。カプラーユニット手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

注意

カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
※シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない
※シャワーホースはねじらない

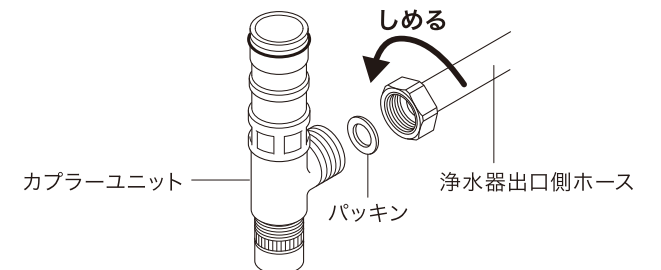


9 浄水器出口側ホースとの接続

カプラーユニットに浄水器出口側ホースを接続します。

注意

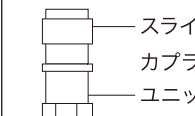
接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水のおそれがあります。



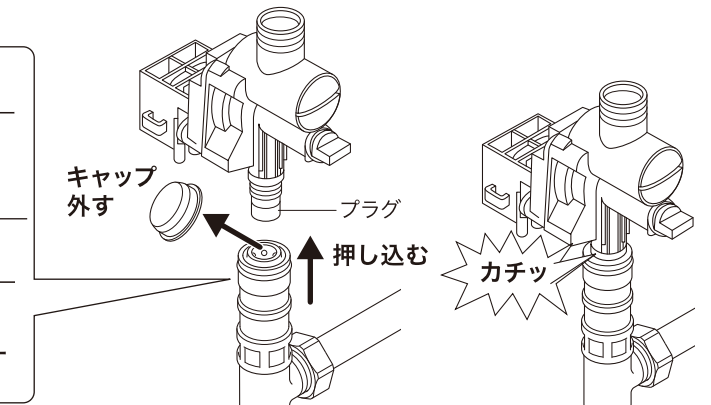
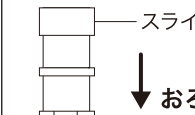
10 シャワーホースの接続

- ① カプラーユニットのキャップを外し、スライダを下におろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込みます。(スライダがすでにおりている場合もあります。) 取り付け後、カプラーユニットを引っばって外れないことを確認します。

おりている状態

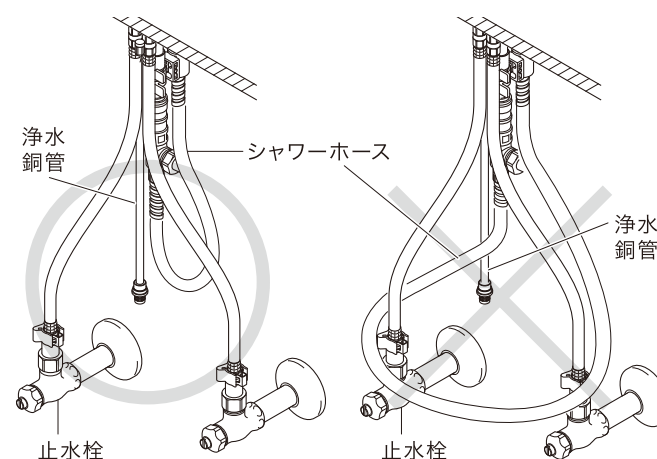


おりていない状態



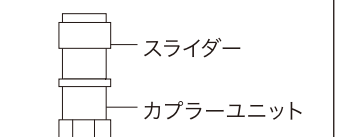
注意

シャワーホースは止水栓や浄水銅管等に引っかけないで、給水・給湯ホースの間にぶら下げてください。シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

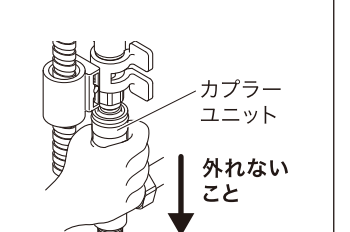


カプラーユニット取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

・スライダが上がっていること



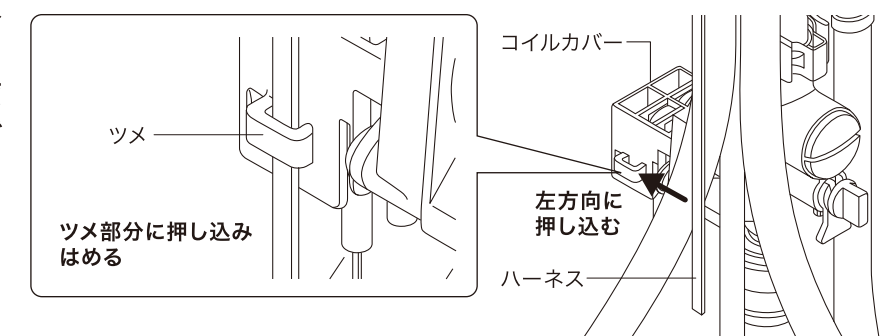
・カプラーユニットを真下に引っばって外れないこと



流し台に水受け用タンクがある場合

シャワーホースの出し入れを繰り返しても確実にタンクに収まるようにしてください。(ホースとの接続の銅管部を少し曲げることで調節できます。)

- ② ハーネスを電磁弁ユニットのコイルカバーのツメ部にはめ込みます。※ハーネスの白いラインがある面を電磁弁側に向けてはめ込んでください。



11 浄水器入口側ホースとの接続

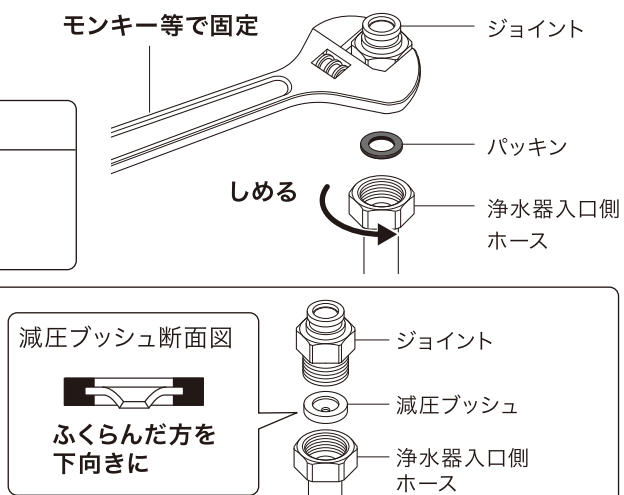
- ① ジョイントに浄水器入口側ホースを接続します。その際、ジョイントをモンキー等で固定し締め付けてください。

注意

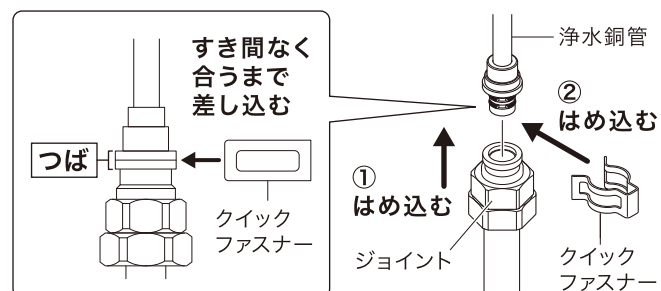
接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。

【給水圧力0.35MPa以上0.75MPa未満の場合】

浄水器入口側ホースとジョイントの間にあるパッキンの代わりに、減圧ブッシュ(同梱品)を取り付けてください。

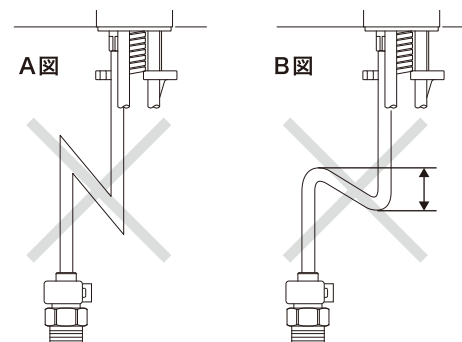
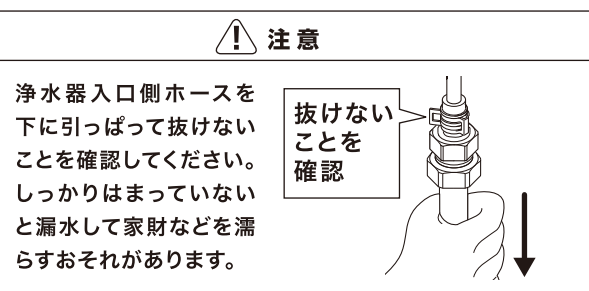


- ② ジョイントを浄水銅管にはめ込み、クイックファスナーを浄水銅管とジョイントのつばにはめます。浄水銅管のつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。

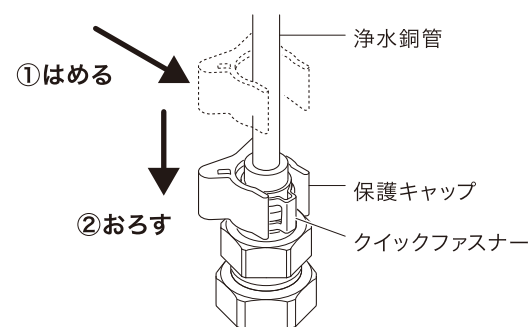


注意

- ・浄水銅管はなるべくゆやかに曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・上下戻り配管はやめてください。(B図)ウォーターハンマーなどで浄水銅管が振動した際、屈曲部から水漏れ発生の原因となります。
- ・浄水銅管は切断しないでください。

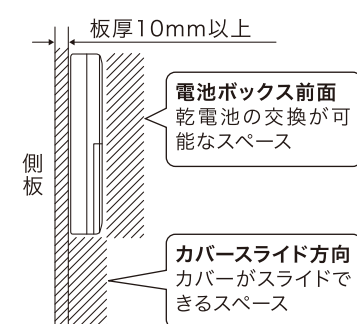


- ③ クイックファスナーに保護キャップをはめます。この時、保護キャップは浄水銅管にはめてから、クイックファスナーまでおろします。



12 電池ボックスの取り付け

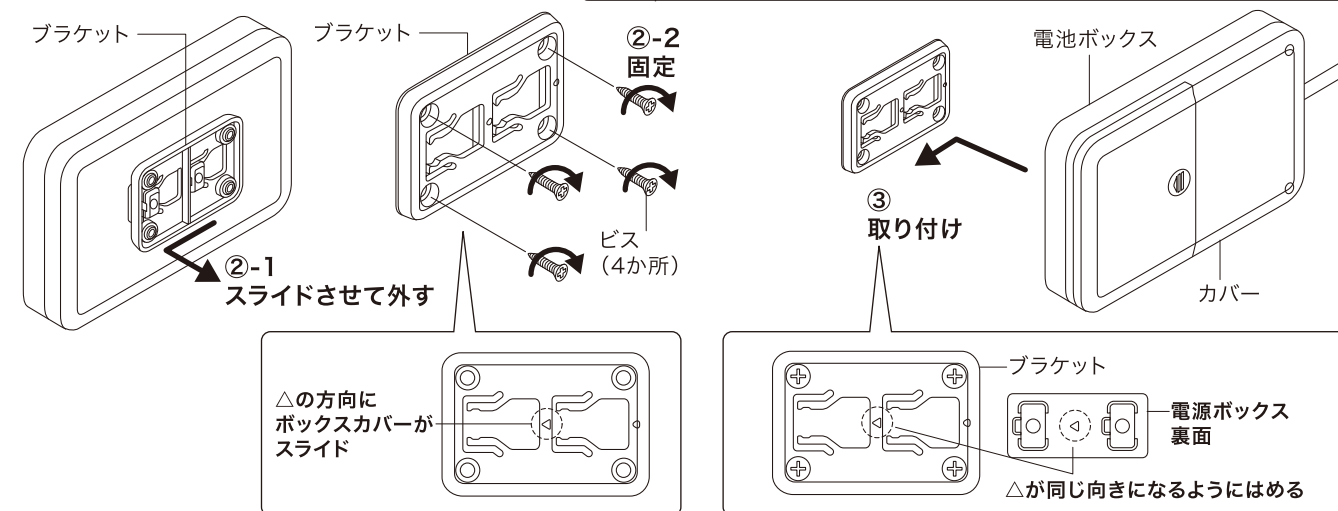
- ① 電池ボックスの取り付け位置を仮決めします。位置決めをする際、乾電池の交換が行えるよう下図のスペースを確保し、板厚10mm以上であることを確認してください。また、引き出し式のキャビネットをご使用の場合は、引き出しや引き出しの中の物と干渉しないようにしてください。
※電池ボックスは縦・横どちら向きでも取り付け可能です。



- ② ブラケットを電池ボックスから外し、ビスで側板に固定します。ブラケットの△が向く方向に電池ボックスのカバーがスライドします。
③ ブラケットに電池ボックスを取り付けます。ブラケットと電池ボックス裏面の△が同じ向きになるようにはめ、カチッとなるまでスライドしてください。

注意

- ・側板など領土がある場所に取り付けてください。電池ボックスが脱落し、故障の原因になります。
- ・電池ボックスコードを背板や側板にはわせた時、無理なく届く範囲で、底板(棚板)より高く水がかからない位置に取り付けてください。断線や感電のおそれがあります。
- ・乾電池の交換が行えるよう、できるだけキャビネットの手前側に設置してください。

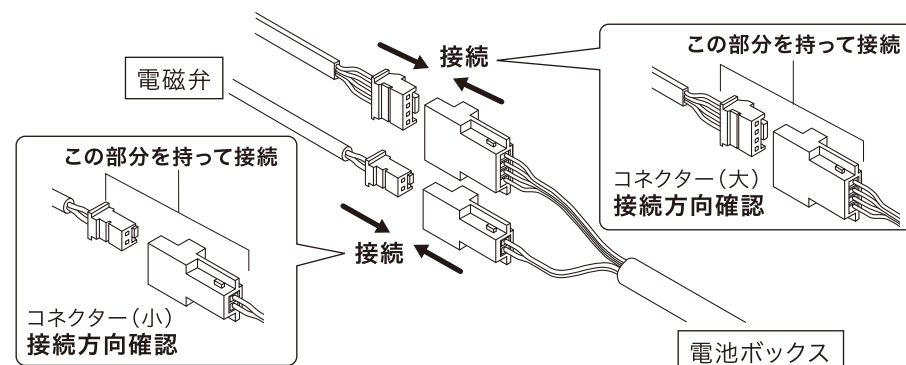


13 コネクタの接続

電磁弁ユニットのコネクター(大・小)をそれぞれ接続します。

【お願い】

各接続部は確実に差し込み、ねじったり引っぱったりしないでください。接続部および配線部が断線するおそれがあります。

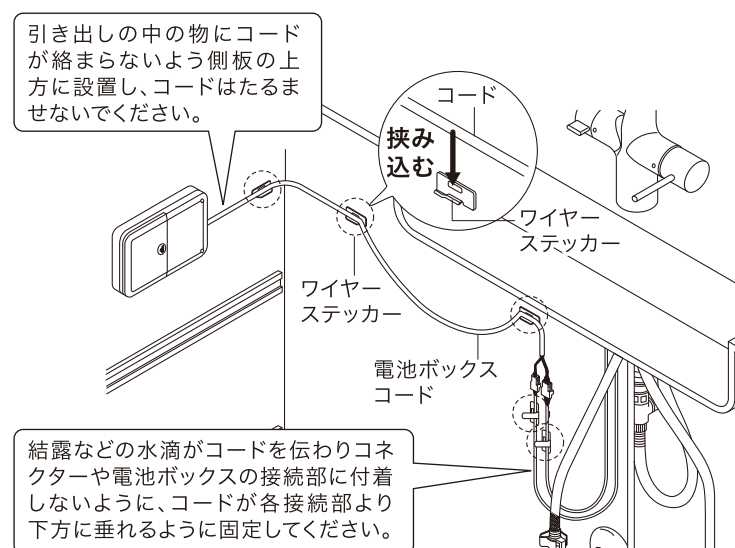


14 ハーネス、電池ボックスコードの固定

キャビネットの背板や側板にワイヤーステッカーを取り付けます。ワイヤーステッカーを少し広げ、コードを挟み込むようにして取り付け、壁に固定します。
※ワイヤーステッカーは5個同梱していますので、必要に応じて固定してください。
電池ボックスコードは床に付かないように壁に固定してください。

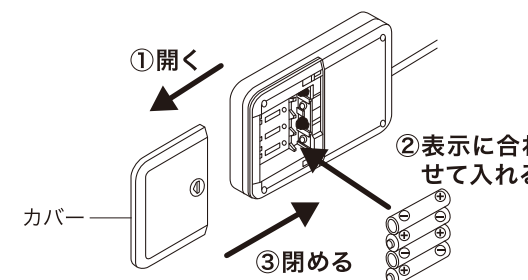
注意

- ・コード類とブレードホース・シャワーホース等が接触したり絡んだりしないようにしてください。また、引き出し式キャビネットをご使用の場合、引き出しのレールにコード類が挟まらないようにしてください。発火・ショート・感電の原因になります。



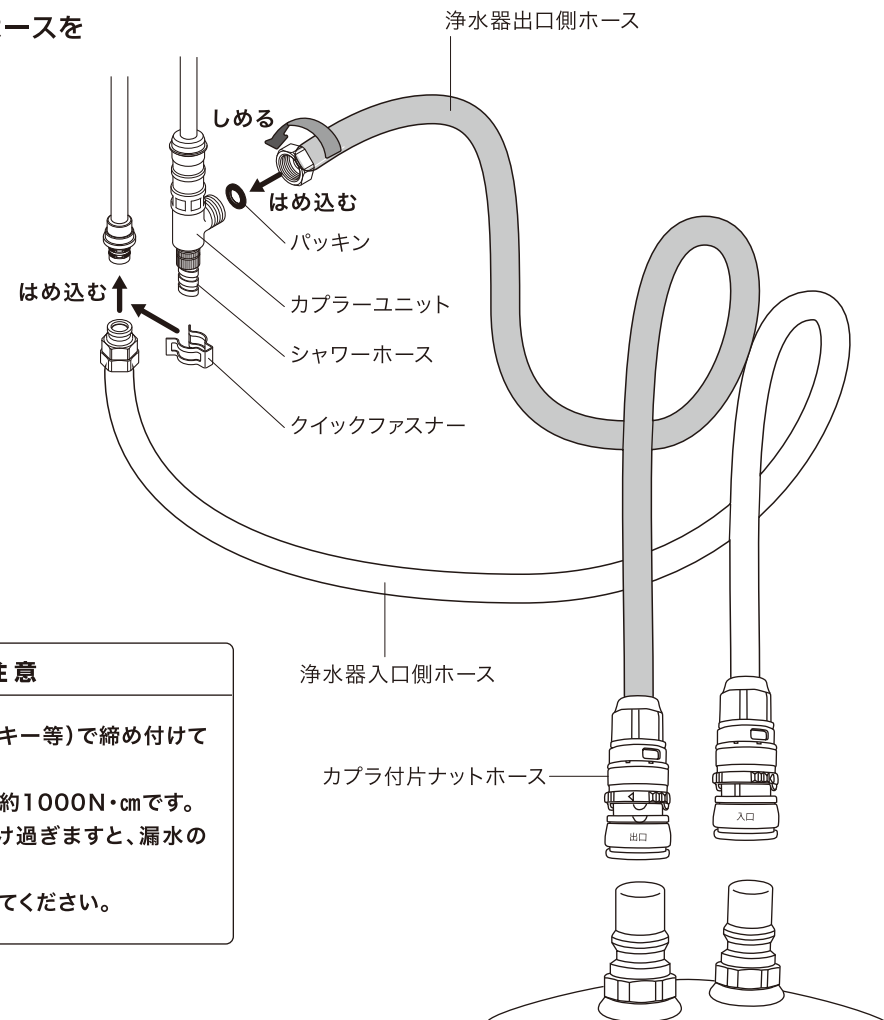
15 乾電池の取り付け

- ① 電池ボックスのカバーを㊸部を押しながらスライドさせて開きます。
② 電池ボックスに同梱の単3形アルカリ乾電池4本を入れます。
【お願い】乾電池の方向は電池ボックス内の表示に合わせてください。
③ 電池ボックスのカバーを閉めます。



4 浄水器の接続

- ① カプラ付片ナットホースを水栓に取り付ける。

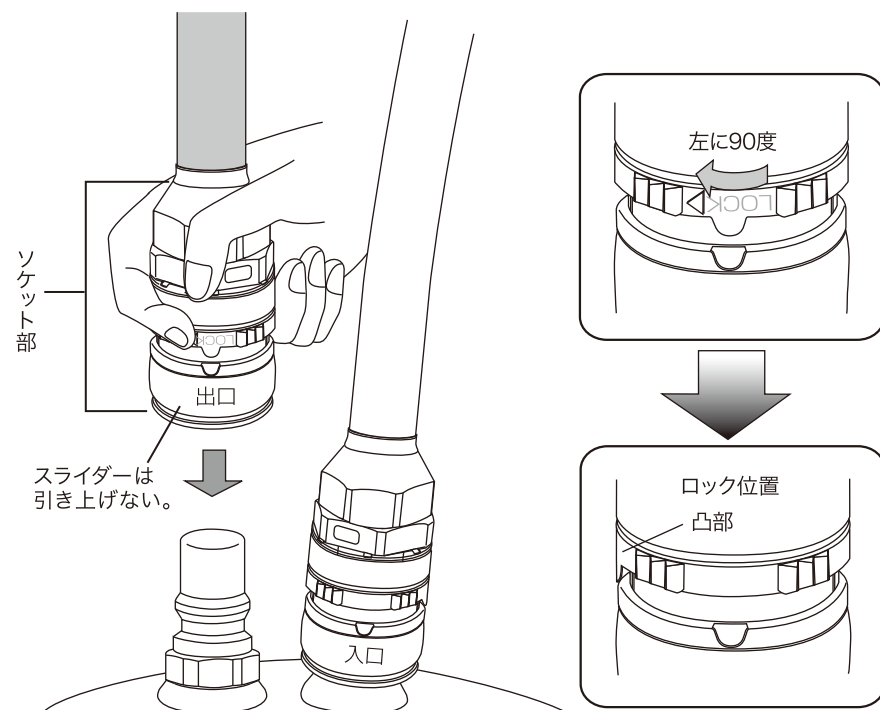


注意

接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水のおそれがあります。
●パッキンを必ず確認してください。

- ② 本体とカプラ付片ナットホースを接続する。(給水・吐水)

- ・ソケット部を真上から「カチッ」と音がするまで差し込む。(入口側・出口側も同様の手順で行ってください。)
- ・ロックリングを左に90度まわしロックしてください。

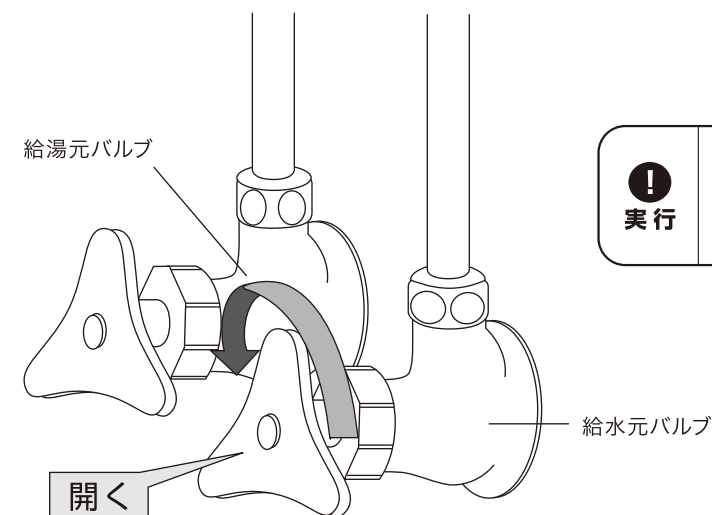


注意

- 接続の際、スライダーを引き上げた状態で差し込まないでください。接続不良の原因となります。
- 安全リングを左に90度カチッと音がするまで回しロックします。
- 入口側と出口側の取り付けを間違えない!

4 最終点検(水漏れのチェック)

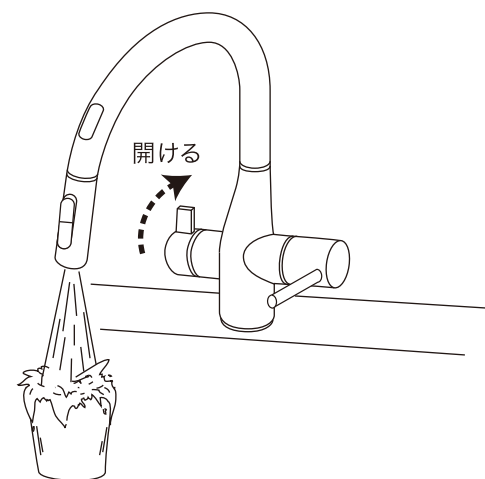
- ① 給水元バルブを開き水道水栓を開く。



実行

- 既設の混合水栓から水を十分流してください。(配管内のゴミを洗い流すため)

- ② 浄水レバーハンドルを押し上げ通水する。



注意

- 最初に濁った水が出てきます。(活性炭と水が混じった水)

実行

- 最初に20分以上は通水してください。

- ③ 配管各部の水漏れがないかを確認する。

実行

- 20分以上通水し、必ず水漏れがないことを確認してください。
- レバーの開閉をくり返し行い、各部の水漏れがないことを確認してください。

・最初の数分間は、水が出にくい場合や止水した後もしばらく水滴が落ちる場合がありますが、しばらく通水してください。

- ④ 流量の調整をする。

- ・指定流量を確認の上、給水元バルブで調整してください。

